

# INUHARIKO NEWS

vol. **14**

未来へつなぐ  
**想いとあそび**

未来へつなぐ



ジャクエツが目指す  
**"ものづくり"の世界**

# 未来は、あそびの中に。

偉大なる発明も、世界を変えた公式も、  
あそびから生まれた。

あそびは、すべての創造の源です。

あそぶ力を伸ばすことは、未来を切り拓くこと。

想像力をのばす。共感力をはぐくむ。ルールをまなぶ。

あそびから、こどもは無限の力を羽ばたかせていく。

あそびの環境に、あざやかな驚きを。

私たちは、未来をつくる仕事です。



## Future is in Play.

未来は、あそびの中に。

取材協力法人様  
学校法人 西尾学園 名倉みふね幼稚園 様  
社会福祉法人 三篠会 青葉さくら保育園 様  
学校法人 すずき学園 花鶴丘幼稚園 様  
社会福祉法人 緑が丘福祉会 緑が丘こども園 様  
学校法人 愛仕学園 幼保連携型認定こども園 与野あいし幼稚園 様  
(記事順)

本誌発行に当たり取材にご協力いただきました皆様から感謝申し上げます。

## 新園舎と"つながる"遊具づくり

自由な発想で新園舎にふさわしい  
シンボリックな遊具を

- 1 地上約10mの高さに設置された周囲を見わたすことができる展望スペース。  
2 航海気分が味わえるように船の舵をつけたデッキ。海底をのぞくように下の空間とのつながりを見せる足もとにはネットを使用。

—今回、新たな遊具を導入された経緯を教えてください。

理事長先生…2020年に園舎が新しくなり、そこにふさわしいシンボリックな遊具を設置したいという想いがありました。また、近年では安全性への配慮などで子どもの遊び場から遊具が撤去されるケースが多く、思い切り遊べる場所が少なくなっています。子どもたちにとって「体を動かして遊ぶ」とは幼少期の成長過程において、とても大切なことであり、その機会が失われつつあることに懸念を抱いていました。そういったことから園児たちが思い切り楽しめる遊具を設置しようということになりました。

—ジャクエツに遊具を依頼された理由はどこにあったのでしょうか？

理事長先生…知人の園長先生からジャクエツに依頼して良かったという声を聞いていたんです。それ以前に「遊具といえばジャクエツ」というブランドイメージがありましたし、何より数多くの実績から見るとその安心感は大きかったです。

未来への想いとストーリーをのせた  
10.863mの灯台船舶

新たなシンボルに期待するもの、そして子どもたちに託す想い

神戸市長田区にある「名倉みふね幼稚園」様は昭和23年(1948)に創立して以来、地域の方々に親しまれてきた歴史ある幼稚園です。令和2年(2020)、新園舎が完成。船舶をイメージしたその園舎に合わせたシンボリックな遊具を、園児たちのために設置したいという想いをご相談くださいました。ご要望に対する遊具のご提案から、その後のプランのブラッシュアップ、そして施工、完成に至るまでのプロセスについて、営業担当者および設計担当者をまじえながら理事長先生に振り返っていただきました。



(右から)  
ジャクエツ 神戸店 山田 正太  
名倉みふね幼稚園様 理事長 西尾 匡人 先生  
スペースデザイン開発課 田嶋 宏行



田嶋 宏行（設計担当）

## 自由な発想から 生まれた設計案

「設計する際にイメージしたことや、こだわったところを教えてください。」

田嶋：新園舎は船をモチーフにデザインされており、ロゴにも船が使われています。そこで私たちが考えたのは、新園舎や園のロゴとの統一性をはかるということ。そのコンセプトに基づき「灯台+島」をイメージした3案をご提案させていただきました。

「『船をめぐるストーリー性のある遊具』コンセプトをご覧になった感想はいかがでしたか？」

理事長先生：「さすがジャクエツだな」というのが正直な感想でした。ただ、「ここまで素晴らしい提案をしてくれるなら「もっと言ったら、もっと応えてくれるのでは？」とも思いました。そこで、ひとつの案を選ぶのではな

く、それぞれのいいところを融合させることはできないか、と提案させていただきました。

田嶋：理事長先生の、そのご意見がフィードバックされてきた時に思ったのは「その発想があったか」という驚きでした。この発想から三つを融合させて設計してみると、今までにない遊具のイメージが浮かび上がりました。今回の遊具づくりに関わらせていただき、私たち設計担当者としても、もっと自由な発想で柔軟に遊具のあり方を追求していけるということに気づかされました。

山田：その柔軟な発想のおかげで、遊具の持つ可能性に広がりが出ました。例えば、「船のデッキ」を模したスぺーシオンの場が生まれました。また、高さに関してもジャクエツがこれまでに手がけた遊具の中で最高の高さ（10.863m）を持つものとなり、見晴らしの良い展望台を作ることができました。



山田 正太（営業担当）

担当として理事長先生の想いと遊具へのご要望をうかがった上で、設計メンバーとチームを組み、プロジェクトを開始しました。施工期間は3週間。安全対策には万全を期して、園児たちの通園時期には私自身も工事に立ち合わせていただきました。私たちジャクエツと幼稚園とが一体となり「ものづくり」に取り組む。そして素晴らしい遊具が完成したということが僕にとっても素晴らしい経験となりました。お子さんたちには、この遊具を通して遊ぶ楽しさを実感してほしいと思っています。



3案 融合案



灯台+島案



灯台案



船舶案



デッキの足元のネットから下のぞくと安全ゴムマットに広がる海の世界。クジラやジンベエザメが悠然と泳いでいます。

海を冒険しているような世界観

「ストーリー性」と「安全性」を重視

### 『子どもたちのために楽しい遊具を』

という理事長先生の情熱が伝わってくる案件でした。私たち設計担当者もその想いに応えようと熱意を込めて取り組ませていただきました。より子どもたちの想像力を膨らませられるよう遊具の随所に海の生物をモチーフにしたイラストを施しました。その他にも、遊具に使うロゴ案を100案くらい描いたり。大変さよりも楽しさの方が大きかったです。

スペースデザイン開発課  
プロダクトデザイン 仲神 彩



### 『つながり』を未来へ

今回の遊具をつくるにあたり、理事長先生からの斬新なご意見、たくさんのご提案をいただき、それを良い形で反映できたことはジャクエツとしても良かったと思っております。目を引く遊具。それ以上に、込められた想いやねらい、プロセスが子どもたちに繋げたい未来なんだと考えさせられました。このチームからできたプロジェクト「つながり」が生んだ結果と言えると思います。



ジャクエツ 神戸店 店長 廣崎 元信



全学年の園児たちが成長の過程に応じて多彩な遊びができるように設計



学校法人 西尾学園  
名倉みふね幼稚園 理事長 西尾 匡人 先生

子どもは「天才」であると同時に、その可能性は「無限大」である。  
を教育理念としながら子どもたちの成長を支えている名倉みふね幼稚園。子どもたちにとっての仕事である「遊び」を大切に考え、楽しみながら成長できるカリキュラム・課外活動を実施しています。

楽しさ、象徴性、安全性、ストーリー性。4つのコンセプトを託された10.863mの巨大灯台船舶は、これからの子どもたちの可能性を切り拓き、未来への指標となり導いてくれることと思います。

「完成後の感想、また保護者の方からの評判はどうだったでしょうか。」  
理事長先生…想像をはるかに超える仕上がりでした。私たちの意見に真摯に耳を傾けてくれたことが満足のいく結果につながったと思います。施工中も園児たちは、次第にでき上がっていく遊具を見て、気持ちが盛り上がっていました。目をキラキラさせて「今日はすべり台がついた」「明日はどこまでできるだろう」とワクワク感を募らせていることが伝わってきました。  
もう一つ印象的だったのは「危なくないんですか?」ということを誰一人として言わなかったことです。高さが10m以上なので心配する方もいるかも知れないと思いましたが、それがなかった。一目見て「この構造なら安心」ということが理解できたからだと思います。その点でも「さすがジャクエツ」というところでしょうね。また、こういう本格的な遊具は身近な公園にもないので、喜んでくれる保護者の方が多かったです。子どもを一番考えた上で遊具はとて大切な存在。「体を動かして遊ぶ」機会が提供できたという意味においても、今回の遊具をジャクエツにお願いして良かったと思っています。

遊びを通じて成長していくことを願う



クヌギの木を活かし、  
ダイナミックに遊べる空間を

— 今回の遊具に関して、ジャクエツに任せていただいた理由と完成までの経緯をお聞かせください。

園長先生…当園の園庭には開設当初からクヌギの木があり、園のシンボリックな存在でした。最初はこの木にツリーハウスを作る考えだったんです。ところが、それでは少し物足りないなという話になり、ツリーハウスを中心に子どもたちがダイナミックに体を動かせる遊具を導入しようということになりました。

園庭をより立体的に使ったものができないかと思い、ジャクエツを含む3社にプランの提案をお願いしました。その中で一番イメージしていたものに近い提案をしてくれたのがジャクエツでした。

新しい冒険と挑戦のはじまり。

遊びの冒険空間

イメージしたのは「トム・ソーヤの冒険」

— 設計、デザインを進めていく上でのポイントは何でしたか。

町田…園長先生の想いを受けジャクエツではツリーハウスを中心に、園庭全体を遊びフィールド

ドに見立てた遊具をご提案させていただきました。コンセプトは、「トム・ソーヤの冒険」。これから園庭に広がる冒険空間をより楽しくするために、また子どもたちの能力向上のためには何が必要か、保育士の皆さんにもたくさんご意見を寄せていただきました。

東京都東村山市の「青葉さくら保育園」様は園庭に立つ木を活用した遊具をご要望。設立当初からあるクヌギの木。子どもたちを見守り続けたこの木をどう活かし、どんな世界観を取り入れたかったか、お話を伺いました。



社会福祉法人三篠会  
青葉さくら保育園  
園長 平野 宏卓 先生



自然と調和した  
三原色の冒険世界



## 提案から設計、工事まで すべてに満足

園長先生…保育士をメンバーとする「園庭リニューアル会議」というチームを作った。ジャクエツと二人三脚で進めていくことにしました。こちらの意見を細かい部分まで反映してもらえて、どんな具現化されて行く様子を見ると、参加したメンバーもワクワクしながら想いを伝える事ができ、完成を待ち望んでいました。

もう一つありがたかったことは、卒園式に間に合わせてもらったことです。遊具設置の工事は今年(2022年)の1月から始まりました。卒園を前にした年長組の子どもたちもその過程をワクワクしながら見ていました。ですが、3月12日までに間に合わないかと遊べなくなってしまう。そんな子どもたちの想いに応え、前日までに完成。卒園前に新しい遊具で遊ぶ事ができた年長さんたちは大喜びでした。



打ち合わせを経て完成したイメージ案

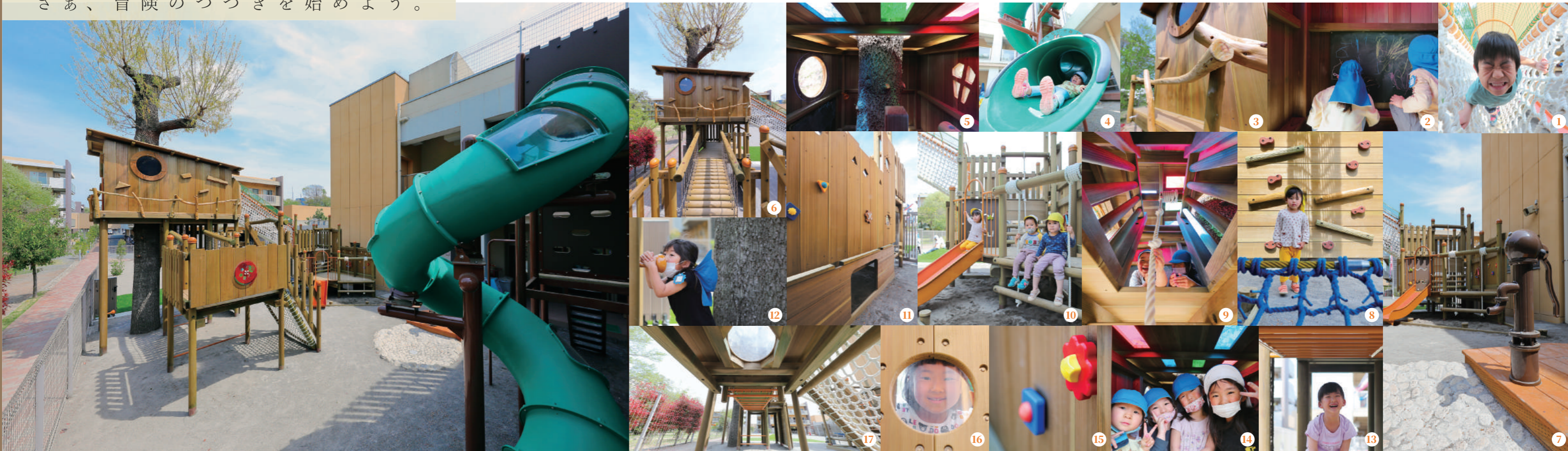


ジャクエツ 所沢店  
店長代理 町田 雅哉

町田…ご要望やご意見はたくさんいただいた方が皆様にとっていい遊具をご提供できることにつながると思っております。今回の設計担当者である藤本もたくさんのご意見をいただいた事でいいアイデアや発想が生まれたと言っていました。また、都内では限られた園庭をどう活かすか悩まれている事が多いのですが、今回の事例はそういった環境を立体的に活用し、新たなフィールドを生み出すというモデルケースになると思います。無事に完成した遊具で、思い切り遊んでくれてる子どもたちの弾むような笑い声はとても嬉しく印象的な瞬間でした。

園長先生…新しい遊具が導入されてから子どもたちは毎日園庭で楽しそうに遊んでいます。子どもたちはもちろん、保護者の方からの評価も高く、当園の新たなシンボルとなりました。私たちに託されても園の個性・独自性につながる遊具ができて大変満足しています。

さあ、冒険のつづきを始めよう。



## 立体的に創造された多様な空間がつなぐ



スペースデザイン開発課  
藤本 萌恵子

今回の遊具を設計・デザインするにあたって追求したのは、限られたスペースで子どもたちに多様な楽しさを味わってもらうために随所に工夫を凝らしたところです。一定の動線は押さえつつも、それにとられることなくどこからでも遊べるように、ハンモックや砂場、雲梯などを配置しています。園様のご要望が明確だったので、それにお応えする形でいろんなアイデアも湧きました。設計者として良い経験になったと感謝しています。

## 新たな冒険フィールド

1. 低年齢ゾーンからツリーハウスへつなぐロープ渡り。
2. ツリーハウス内にあるお絵かきボード。
3. ツリーハウスを囲む自然木。自然との調和を考え温もりある素材を使用。
4. 園舎に併設するように設置されたトンネルスライダー。
5. 三原色で彩られたハウス内。不思議な形の窓が子どもの世界を演出。
6. 四角デッキからツリーハウスへつなぐ吊り橋エリア。
7. ガチャポンデッキ。水遊びの場。
8. (手前)三角デッキの下空間を有効活用したハンモックゾーン。  
(奥)高年齢児の運動能力向上を促す垂直クライミング。

9. 下のデッキから小屋の中へとつながる登りロープ。
10. 低年齢ゾーンに設置された、肋木と滑り台。
11. 砂場から外へつながる出入口。隠れた空間を演出。
12. ハウスの中へと声を届ける伝声管。
13. 吊り橋下のスペースを活かし設置された雲梯。
14. ツリーハウス入り口。
15. 低年齢ゾーンにあるくるくるパネル。
16. 空間認識を広げるのぞき穴。
17. 上下の空間をつなぐ四角デッキの床窓。

CASE 4

空間を最大限活かした室内総合遊具

社会福祉法人 緑が丘福祉会 緑が丘こども園（愛知県）



園舎2階とつながる遊具は、複数のあそび機能を有しており、サーキットあそびを通して楽しく運動機能の向上をはかることができます。また伝声管で1階と2階の子どもたちが会話できたり、下にいる子がネットの隙間から上の子を見上げたりと、1階と2階が分断されることなく一体感のある空間になっています。小さなデッキからは厨房内が一望でき、給食ができる様子を見ながら楽しく学ぶことができる「食育の場」になっています。2階部分には広いネットスペースを確保しており、子どもたちが飛び跳ねたり、寝転んだり、のびのびとできる場所になります。ゆらゆらジャングルは握力、腕力、空間認識能力の向上につながります。デザイン面では、新園舎の雰囲気に合わせ 全体的に主張しすぎない配色にしています。

CASE 5

CI(コーポレートアイデンティティ)を活かしたデザイン

学校法人 愛仕学園 幼保連携型認定こども園 与野あいし幼稚園（埼玉県）



こども園移行に伴う園舎建て替えの際、CI(コーポレートアイデンティティ)を制作させていただきました。ホームページや園舎にCIを活かしたデザインを施しており、園のシンボルとなる総合遊具にもCIを取り入れることとなりました。ヒヨコスタジオ山崎氏によるデザインをできる限り活かした遊具が完成しました。



CASE 3

子どもたちの個性の花が咲く大きな遊びの木

学校法人 すずき学園 花鶴丘幼稚園 様（福岡県）



「明るく、生き生き、のびのびと園生活を楽しむ」「個々の成長を決して焦らない」という花鶴丘幼稚園様の教育理念から『大樹のようにゆっくり時間をかけて大きく成長し子どもたちの個性の花が咲くように』と願いを込めた遊具。低年齢児エリアはつぼみ、幼児エリアは開花した花を描き、あそびを通して成長してほしいという想いでデザインを作成しました。また、古賀市を代表とするコスモスをモチーフに「心」「身」「喜」「遊」の4つの方針を色で表現しています。







これからたくさんの発見・体験をして、成長していく子どもたちへ。殻をやぶり、はじめの一步をふみだし、低年齢児向けの単品遊具シリーズです。

耐久性に優れたアルミ製のため、鉄製よりも軽く移動が可能です。

【対象年齢：1～2歳】

## 01 EGG うんてい

¥605,000 (税込)

J22V001M▶

¥550,000 (税別)

J22V007M(ステップなし)▼

¥407,000 (税込)

サイズ：0.9×0.7×高さ1.2m

重量：本体/約16.5kg ステップ/約16kg

材質：本体/アルミ(メラミン焼付塗装)

ステップ/杉(加圧注入防腐処理)

パネル/ポリカーボネート ルーピング玩具/EVA

¥370,000 (税別)



乳幼児がぶら下がることを目的としたうんていです。



補助用の木ステップを使うことで、身長に合わせて遊ぶことができます。



木ステップには持ち手があるため、位置をずらしてお使いいただけます。



持ち手には、ルーピング玩具がついており、操作あそびができます。EVA製で取り外しが可能です。

## EGG たいこばし

¥583,000 (税込)

J22V002M

¥530,000 (税別)

サイズ：0.9×1.2×0.75m 重量：約21.5kg

材質：本体/アルミ(メラミン焼付塗装) ネット/ビニロンネット

パネル/ポリカーボネート



パネルを上手によけながら、内側をくぐります。たまごの柄の重なりの変化も楽しむことができます。



ネットとパイプの2種類の登り機能で遊ぶことができます。難易度が違うため、月齢に合わせて挑戦できます。

## 02



## 03 EGG すべりだい

¥979,000 (税込)

J22V003M

¥890,000 (税別)

サイズ：0.7×2.1×0.9m 重量：約47.5kg

材質：本体/アルミ(メラミン焼付塗装) 床/杉(加圧注入防腐処理)

パネル/ポリカーボネート 滑り台/アルミ・ポリエチレン



ウェーブ型のローラー滑り台は、体重の軽い乳幼児でも、スピード感を持って楽しく滑ることができます。



デッキには木板が貼られているので、柔らかく、夏場も暑くなりくいいため安全です。

D2022-0200-00359